



榎原中だより

学校教育目標 「仲間とともに自らを磨き続けられる人間の育成」

京都市立榎原中学校

学校だより⑩

令和8年(2026)1月28日

校長 川上 貴由

(第2回) 学校教育力向上に向けたアンケート結果 (保護者)

12月に行われました三者懇談の際に実施した「学校教育力向上に向けたアンケート」の保護者回答(回答数391)の結果をお知らせいたします。ご多用のなか、アンケートに御協力をいただきありがとうございました。この結果につきましては、学校運営協議会・教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。生徒アンケートの結果につきましては、次号以降でお伝えいたします。＊数値は「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した人数をあわせた割合になっています。詳細は学校HPに掲載しています。

令和7年度「前期」と令和7年度「後期」との比較

＊令和7年度前期より上がった(↑)

＊令和7年度前期より下がった(↓)

設 問	前期	後期
①子どもは安心して楽しく学校に通っている	94%	91% ↓
②学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している	95%	93% ↓
③学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる	94%	90% ↓
④学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている	93%	91% ↓
⑤学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている	89%	84% ↓
⑥学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している	95%	88% ↓
⑦学校行事の時期は適切である	86%	88% ↑
⑧学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている	81%	78% ↓
⑨家庭では学校の話題など、子どもとコミュニケーションが図れている	88%	86% ↓
⑩子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている	89%	90% ↑
⑪家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている	95%	95%
⑫家庭では早寝・早起きに心がけている	66%	66%
⑬子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ会話している	84%	83% ↓
⑭子どもは、朝ご飯を毎日きちんと食べている	88%	90% ↑

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!



設 問	前期	後期
⑮ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている	72%	70% ↓
⑯子どもは朝夕の検温など健康観察をしっかりと行っている	36%	40% ↑
⑰子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う	73%	69% ↓
⑱子どものことについて、先生と気軽に相談できる	87%	79% ↓
⑲子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている	52%	56% ↑
⑳子どもはハンカチを携行している	56%	55% ↓

□ ■ □ ■ 学校生活について □ ■ □ ■

前期と比較して多くの項目で数値が下がっています。中でも「学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している」の項目で大きく下回っています。数値としては肯定的な回答が8割後半と高い状況ですが、下回っている原因を考える必要があります。また、「学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている」の項目では84%と低い数値を示しています。

これらの要因として、チーム担任制の影響が考えられます。担任間での情報の伝達、指導方針の共有などで引き継ぎがうまくいっていない可能性があります。旧来の担任制を望む声も聴きますが、教職員の年齢構成は若年化が進み、子育て世代の増加も見込まれます。このような状況を鑑みますと、旧来の担任制では担任の担い手が不足することが大いに予想されます。したがって、現在、実施しているチーム担任制はこれからの学校運営に欠かせない制度です。今年度の取組内容を精査しながら改善点を明ら

かにし次年度につなげてまいります。

なお、来年度は、1・2年生をチーム担任制、3年生は旧来の担任・副担任制で実施します。

□■□■ 学習面について ■□■□

学習面については、引き続き課題が浮き彫りになっています。「学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている」の数値が他の項目よりも低く、「子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う」の項目においても低い数値を示しています。その反面、学習確認プログラムにおける状況は京都市平均をやや上回っている状況です。したがって、日々の授業において、子どもたちが「わかった!」「もっと知りたい!」と思えるような授業改善が求められていると思います。今年度、本校では学力向上を重点課題して、日々、先生方同士で授業力改善に努めています。今後も、教職員一丸となって「子どもが夢中になる授業」を目指し、設問「子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う」の数値が上昇するように努力していきます。

□■□■ 家庭生活について ■□■□

「子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている」の数値が若干向上しましたが、「家庭では学校の話など、子どもとコミュニケーションが図れている」「子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ会話している」の項目では若干数値が下がっています。

思春期に差し掛かる中学生の時期は子育てに難しさを感じる時期でもあります。私の方では、松陽学区社会福祉協議会主催の「ほっこり茶話会」や、榎原子育て支援連絡会（予定）などで講演会を行っています。お時間が許しましたらご参加下さい。

SNSに起因する問題行動が増えています!!

「家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている」の項目では肯定的な意見が95%と高い状況ですが、今年度になってSNSに起因する問題行動が急増していますのでご注意ください。

今年度になって、「個人が複数のアカウントを所有し、個人が特定されないアカウントを使って、他人の個人情報暴露する」という事案が続いています。これらの事案を防ぐには、個人の倫理観によるものが大きくなります。保護者の皆様におかれましては、アカウント使用についてお子様と話し合ってください。

2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切に

て、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として2007年2月5日に「京都はぐくみ憲章」が定められました。

本校でも、引き続き保護者や地域の皆さんと連携し、子どもを真ん中に置いた教育活動を推進していきます。

京都はぐくみ憲章

～ 子どもを共に育む京都市民憲章 ～



わたしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日(青丸二二二)京都府の制定
3月13日 京都市議会が議決を決議

♪♪ クリスマスコンサート ♪♪



12月23日(火)、音楽室で吹奏楽部によるクリスマスコンサートが行われました。会場には、多くの方が参観にられ、和やかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごすことができました。

これから素敵な演奏を楽しみにしています。なお、12月20日(土)八幡市文化センターで行われました第58回京都府アンサンブルコンテストでは、打楽器アンサンブルの部において8年ぶりに金賞を受賞しました。おめでとうございます。

西京支部生徒会交流会

12月24日(水)、桂川中学校で生徒会交流会が行われました。榎原中学校からは、生徒会本部役員の2年生3名、1年生1名が参加しました。各校の取組紹介、新しい本部としてのスローガンなどを共有し、今後の活動に向けて疑問に思っていること、新しいアイデアなどをワールドカフェ方式で他校の生徒と意見交流を行いました。これから、2年生をリーダーとする学校生活が始まりますが、榎原中学校をさらに良い学校にして欲しいと思います。

